

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成25年7月16日 午後 1時30分 開会 午後 2時49分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	渡辺順子 奥津勝子 二宮加寿子 三澤龍夫 片野哲生 竹内恵美子 高橋富美子 鈴木京子 吉川重雄 関 威國 坂田よう子 清水弘子
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 依田教育長 二挺木政策総務部長 加藤財政課長 曾根田財政係長 大槻総務課長 常松副課長兼公共施設係長 福島教育部長 佐川生涯学習課長
5 職務のため出席した職員	局 長 飯田 隆 書 記 増尾克治
6 協議等の事項	(1) 議会報告会の意見・要望等と町への申し送りについて (2) その他
7 その他	一般傍聴 なし

(1) 町長あいさつ

次の5件について、お知らせを受けた。

①訴訟の経過について

4月の全協において、寺坂にある町所有水路の境界確定等を求める訴訟の判決が3月27日(水)に出され、町が主張する境界線が認められたと報告したが、相手側がこの判決を不服とし、控訴した。

②長谷川と不動川の合流地点に架かる橋の開通について

町が県に負担金を支払い、県が不動川改修工事に合わせて長谷川に建設していた不動川との合流地点に架かる橋が7月1日に開通した。

③職員研修「ゲートキーパー養成講座」について

7月3日(水)・4日(木)に全職員を対象としたゲートキーパー養成講座を開催した。参加人数は195人であった。

④国際学園との共催事業に係るキックオフイベントについて

9月に郷土資料館で開催する国際学園との共催による東日本大震災復興支援事業「ミネルヴァのふくろうと明日の日本」作品展について、7月19日(金)にキックオフイベントを行う。パワーポイントを使った概要説明があった。

⑤東日本大震災被災地の現地視察について

7月23日(火)・24日(水)に町長と町職員2名で福島県相馬市、南相馬市、浪江町を視察する。現地で町の復興状況、住民の生活環境など現在の状況を視察すると共に、震災時から市長である相馬市と南相馬市の市町や防災担当職員と面会し、町で行っている初動体制などについても伺ってくる予定。

⑥大磯町子ども議会について

平成22年度にはじまり第4回目となる大磯町子ども議会を8月20日(火)に開催する。町立中学校の生徒17名が議員となる。

⑦国・県への要望活動について

7月22日から8月30にかけて、民主党、自民党、公明党、3市3町広域行政推進協議会、神奈川県町村会へ要望活動に伺う。

⑧大磯駅前用地利活用の検討について

7月28日(日)に、ワークショップに参加していない町民の方を対象として、大磯駅前用地の利活用策について町民との意見交換会を行う。また、7月24日(水)には第3回目の町民ワークショップを行う。

◎主な質疑

問：郷土資料館で行う「ミネルヴァのふくろうと明日の日本」作品展について、いろいろなジャンルの作品が集まり、高価なものも含まれると思うが、展示品へのセキュリティ対策はどうか。

答：当初は民間施設を検討していたが、セキュリティが一番しっかりしているという理由で、郷土資料館の企画展示室での実施となった。

問： 万が一のために、職員が張り付いておく必要があるのではないか。

答： 昼間は職員が巡回を行う。夜間は企画展示室を施錠し、機械警備での対応となる。

問： 7月19日(金)のキックオフイベントは10時から13時となっているが、その内容はどのようなものか。

答： 9月に開催する作品展の周知として、作品を一部紹介したり、主催者のあいさつ等、記者発表を行うものである。

問： 大磯駅前用地利活用の検討について、町民意見交換会への参加は自由参加ということか。

答： 自由参加である。広報等で周知する。

問： 意見を聞くのならば、大磯駅前用地の現地を町民が実際に見る必要があると考えているが、そのような機会はあるのか。

答： 現地見学会は、申し込み制で今までも受付はしており、現在も随時受け付け可能としている。

問： 町は受け身ではないか。土日は現地を見ることができないという状況はまだ続いているのか。

答： 7月28日の町民意見交換会の周知を町内掲示板で行うが、その中にも現地見学会を受け付けている旨は周知している。また、これまで土日は見学できなかったが、7月と8月については、土日の見学も受け付けするよう運用している。

問： 意見交換会で得た町民意見はどのように反映していくのか。

答： 現在行っている町民ワークショップ、メールやファックス等の意見と合わせて、今回の意見交換会の意見も利活用検討委員会で協議し、最終的に町で判断して行きたいと考えている。

問： 東日本大震災被災地の現地視察について、相馬市、南相馬市、浪江町を選んだ理由は。

答： 震災後、宮城県と岩手県には視察したが、福島県にはいかなかった。相馬市と南相馬市は震災時も市長であった方が現在も市長であり、当時のことを聞く機会が得られたため、視察先とした。

問： 福島県は原発事故による放射能汚染の関係もあり、それらに関連した視察ということではないのか。

答： 平成23年に相馬市と南相馬市に対し、大磯町は支援物資を送付した経緯があり、その確認も考えている。あわせて放射能被害の問題、人口の増減、市役所の仕事の推移を職員には勉強して来てもらいたいと考えている。

(2) 町報告事項

①平成 25 年度大磯町一般会計補正予算(第 2 号)の概要について

町側から内容の説明があり、7 月 26 日の臨時会で議案として提出されるため、質疑はなかった。

(3) 各委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 報告事項

①委員長等からの報告

○7/8・12 議会運営委員会の概要・・・坂田副委員長

○6/25 福祉文教常任委員会協議会の概要・・・竹内委員長

○7/1・10 議会だより編集委員会の概要・・・鈴木委員長

②監査委員からの報告・・・三澤委員

③農業委員からの報告・・・片野委員

④7/3 新湘南国道並びに藤沢大磯線(湘南新道)新設改良促進協議会委員会・・・渡辺議長

⑤7/5 県町村議会議長会歳入歳出決算監査・役員会・定期総会・・・渡辺議長

⑥7/4・5 JIAM 市町村議会議員短期研修・・・二宮議員・片野議員・関議員

⑦行政視察について・・・渡辺議長

7 月 4 日に山口県光市議会会派「ひかり未来」が議会改革等について視察来庁した。

⑧その他

○議会改革について

議会運営委員会において昨年 4 月に「議会基本条例の進行管理に関する事項と進め方」を作成し議会改革を進めて来ている。今後、さらに継続するために「議会改革に向けて継続して検討を進める事項」の 11 項目のうち「本年度中に開始する事項」「議員任期中に開始する事項」「期限は設けないが将来的に開始する事項」に振り分けて、7 月 26 日以降の議会運営委員会に申し送りすることとなった。

○大磯町補助金等評価委員会について、傍聴した議員等から次のような意見があった。

昨日、2 つの団体が応募した公募型補助金について、その評価委員会が行われたので傍聴した。結果は両方とも不採択となったが、その理由は書類上の不備だった。町民課の対応が適切だったのか疑問に思う。

過去にこの補助金制度については監査請求も出されており、議員は町民の代表であり、そうした団体と町との関係には関心を持って対応

していったらよい。一般質問等で投げかけてはどうかと考える。

(5) 協議事項

①議会報告会の意見・要望等と町への申し送りについて

前回の6月14日の全協で、5月に行った議会報告会の町民からの意見を「回答が完結したもの」「議会で調査研究していくもの」「町へ申し送るもの」を振り分けた。それを整理した資料を確認し、町へ申し送るとともに議会ホームページに掲載していくこととした。

②その他

7月26日に開催する臨時議会における議事日程、タイムスケジュール予定(案)について事務局から説明があり、その内容で進めることを了承した。

◎主な質疑

問： 議会運営委員会の委員は各常任委員会から3名ずつ選出し、残りのメンバーから議会だより編集委員を選出するような流れに過去にはなっていたが、その辺りが変わってきている。確認したいが。

答(議長)： 前回も決まっていないが、今回も議会運営委員会委員以外から議会だよりの委員を決めるということにはなっていない。各常任委員会での選出時の対応に任せる。

(6) 事務局からの報告

①視察来庁について

7月17日に新潟県北蒲原郡聖籠町議会が議会改革について、7月23日に栃木県下都賀郡壬生町議会が自治基本条例の制定経過・議会改革・議会広報について視察するために来庁する。

②その他

・次回の定例の議員全員協議会は、8月16日(金)午後1時30分からの予定